

一般社団法人 埼玉県作業療法士会 定時社員総会議事録

2026年6月21日（日）午前10時30分、埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5大宮ソニックシティ807会議室およびオンラインにおいて、定時社員総会を開催した。

定刻に代表理事 宇田英幸は開会を宣言、議長に佐藤宗男（吉川中央総合病院）、副議長に小島佑紀（所沢美原総合病院）が選ばれた。

大橋幸子は次の通り46名（代議員数51名）に達する代議員の出席があったので、本総会は適法に成立したことを告げた。

総会参加者	28名
委任状及び書面表決	18通
合計	46名

出席理事及び監事

理事 宇田英幸、伊藤伸、平田樹伸、赤間公一、犬塚功一、江原友樹、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、加藤恒平、北村ミチル、桑原陽子、小池祐士、神山真美、阪井之哉、佐々木竜也、鈴木香織、柴崎康子、高橋啓吾、館岡周平、種沢浩平、近森貴裕、内藤大佑、原裕如、藤田真弓、丸達也、吉田朋子、渡部慶和

監事 岡田洋一、西田典史

議長は、書記 近藤智（目白大学）、鳥居誠志（さいたま市立病院）、議事録署名人 新井辰広（熊谷総合病院）、越智拓也（本庄脳神経外科・脊椎外科）を任命した。

議案審議

第1号議案 2025年度事業報告

会長 宇田英幸より、当期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）における事業状況が詳細に説明報告された。

質問および意見

特になし

以上につき、議長がその承認を議場に諮ったところ、満場一致で可決承認された。

第2号議案 2025年度収支決算報告書・監事意見書

財務部長 北村ミチルは、当期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）における決算報告を附属書類により詳細に説明報告し、下記の書類が提出された。

- 1 貸借対照表
- 2 損益計算書（正味財産増減計算書）
- 3 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類

監事 岡田洋一、西田典史より、監査の結果、当期（２０２５年４月１日から２０２６年３月３１日まで）における本法人の財産および業務執行状況について共に良好かつ適正である旨、報告された。

質問および意見

特になし

以上につき、議長がその承認を議場に諮ったところ、満場一致で可決承認された。

第３号議案 ２０２６年度事業計画及び当初予算案

会長 宇田英幸より、２０２６年度の事業計画案が詳細に説明された。

財務部長 北村ミチルより、２０２６年度の収支予算案が詳細に説明された。

総務部長 丸達也より、事前質問において受付けた「総務部事業計画と通信運搬費の内容」について説明された。

質問および意見

【質問】

代議員より、議案書 48 ページの総務部事業計画において、電子定期便の配信、会員への連絡・発送物管理、未入会作業療法士への入会促進、福利厚生事業の推進等が挙げられている一方で、議案書 61 ページの予算案では通信運搬費が 2025 年度支出額（議案書 41 ページの正味財産部門別増減計算書における総務部の通信運搬費）に対して大幅に増額されていることについて質問があった。具体的には、この増額がどの事業に対応するものなのか、また、電子定期便や Web による情報発信が進む中で増額となった理由について説明を求めるものであった。

【回答】

丸総務部長より、法人管理部と総務部は議案書 41 ページの正味財産部門別増減計算書上では別部門として通信運搬費を記載しているが、事務局機能としては一体的に運営しており、予算編成においても両部門を合わせて検討しているとの説明があった。そのため、通信運搬費については総務部単独ではなく、法人管理部と総務部全体に係る経費として計上しているとの回答があった。

また、2025 年度実績額 574,008 円に対し、2026 年度予算額を 850,000 円とした理由については、①入会促進活動および作業療法啓発活動の推進、②事務局運営に必要な発送業務への対応、③郵送料・運送料の上昇の３点が挙げられた。

さらに、入会促進や作業療法の啓発に係る経費について、従来は複数の部局に分散して計上していたものを、2026 年度は整理・集約して計上したことも増額の要因であるとの説明があった。

以上につき、議長がその承認を議場に諮ったところ、満場一致で可決承認された。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午前１１時３０分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

２０２６年６月２１日

議 長 ： 佐藤宗男
議事録署名人：新井辰弘
議事録署名人：越智拓也
議事録作成者：近藤 智
議事録作成者：鳥居 誠志